ISSN 0386－8729

人文学報

No. 512-14

独語・独文学

【論文】

時代を見つめて

W.G. ゼーバルトとの対話：„Auf ungeheur dünnem Eis“

…… 小野　森都子（1）

百年後の青年に

―『特性のない男』と国家社会主義の時代 ―

…… 西野　路代（27）

首都大学東京　人文科学研究科

2016.3

人文学報 第512-14号

目次

【論文】

時代を見つめて

W.G. ゼーバルトとの対話：„Auf ungeheur dünnem Eis“

…… 小野　森都子　(1)

百年後の青年に

―『特性のない男』と国家社会主義の時代 ―

……西野　路代　(27)

2015年度　ドイツ文学教室彙報

1. 学事日程

4月2日（木）	独文常勤・非常勤教員打ち合わせ会（11:30～）
4月6日（月）	独文新2年生ガイダンス（13:00～）
	独文全体ガイダンス（15:00～）
5月14日（木）	卒論・修論ガイダンス（13：00～）
9月14～15日（火）	独文合宿（川越にて。修論・博論予備中間発表）
10月1日（木）	修論中間発表会、博論研究状況報告会（13：00～）
10月19日（月）	2年次所属決定ガイダンス（12：00～）
11月12日（木）	2年次所属決定ガイダンス（12：00～）
1月28日（木）	卒論・修論発表会（13：00～）
2月16～17日（水）	大学院入試

2. ドイツ文学教室関係授業科目一覧

科目名右の*印は学部と大学院の共通科目

【学部】

基礎科目群　言語科目　未修言語科目第二群

ドイツ語 I-101a　古屋　裕一
ドイツ語 I-101b　園田　みどり
ドイツ語 I-101c　米本　晶
ドイツ語 I-102a　園田　みどり
ドイツ語 I-102b　山本　潤
ドイツ語 I-102c　山本　潤
ドイツ語 I-103a　西野　路代
ドイツ語 I-103b　前田　佳一
ドイツ語 I-103c　古屋　裕一
ドイツ語 I-201a　古屋　裕一
ドイツ語 I-201b　豊倉　尚
ドイツ語 I-202a　白木　和美
ドイツ語 I-202b　荻原　耕平

ドイツ語 I-203a　西野　路代
ドイツ語 I-203b　小野　森都子
ドイツ語 I-204a　園田　みどり
ドイツ語 I-204b　工藤　愛
ドイツ語 I-205a　豊倉　尚
ドイツ語 I-205b　渡辺　幸子
ドイツ語 I-206a　稲田　文子
ドイツ語 I-206b　池谷　尚美
ドイツ語 I-207a　米本　晶
ドイツ語 I-207b　稲田　文子
ドイツ語 I-301a　藤川　直也
ドイツ語 I-301b　小沼　明生
ドイツ語 I-302a　白木　和美
ドイツ語 I-302b　工藤　愛
ドイツ語 I-303a　山崎　泰孝
ドイツ語 I-303b　渡辺　幸子
ドイツ語 I-304a　荻原　耕平
ドイツ語 I-304b　豊倉　尚
ドイツ語 I-305a　馬場　浩平
ドイツ語 I-305b　荻原　耕平
ドイツ語 I-306a　小沼　明生
ドイツ語 I-306b　田中　一嘉
ドイツ語 I-401a　白木　和美
ドイツ語 I-401b　馬場　浩平
ドイツ語 I-402a　馬場　浩平
ドイツ語 I-402b　渡辺　幸子
ドイツ語 I-403a　藤川　直也
ドイツ語 I-403b　工藤　愛
ドイツ語 I-404a　小沼　明生
ドイツ語 I-404b　田中　一嘉
ドイツ語 II-801a　西野　路代　前期
ドイツ語 II-801b　西野　路代　後期
ドイツ語 II-802a　山崎　泰孝　前期

ドイツ語 II-802b　山崎　泰孝　後期
ドイツ語 II-803a　小野　森都子　前期
ドイツ語 II-803b　小野　森都子　後期
ドイツ語 II-804a　米本　晶　前期
ドイツ語 II-804b　米本　晶　後期

教養科目群　文化・芸術・歴史
ドイツ語圏の文化　古屋　裕一　〔後期〕

基盤科目群　人文科学領域
人間・文化・社会　園田　みどり〔第 10 回（6 月 22 日)〕
トーマス・マン『ヴェニスに死す』における性と死

専門教育科目（都市教養学部人文・社会系国際文化コース欧米文化論分野ドイツ語圏文化論）
ドイツ語学演習*　福本　義憲　〔前期〕ホフマン『ファールン鉱山』講読
ドイツ語史*　福本　義憲　〔後期〕ドイツ語史から見る社会と文化
ドイツ語圏文化演習*　園田　みどり　〔通年〕ナチ政権下における抵抗文学
ドイツ語圏文化演習*　古屋　裕一　〔通年〕ヴァルター・ベンヤミン精読
上級ドイツ語　稲田　文子　〔前期〕〔後期〕
ドイツ語圏特殊講義*　山本　潤　〔通年〕中世ドイツ文学入門
ドイツ語学概論 A　保阪　靖人　〔前期〕ドイツ語構造の考察
ドイツ語学概論 B　保阪　靖人　〔後期〕ドイツ語構造（音、形態）の考察
ドイツ語圏文化論 A*　古屋　裕一　〔前期〕フランツ・カフカ精読
ドイツ語圏文化論 B*　古屋　裕一　〔後期〕フランツ・カフカ精読
ドイツ語圏文化演習*　園田　みどり　〔通年〕ゲーテ『若きウェルテルの悩み』講読
ドイツ語作文 I　小野　森都子　〔前期〕
ドイツ語作文 II　小野　森都子　〔後期〕
ドイツ語圏文学論 A*　瀬尾　育生　〔前期〕ユンガー『内的体験としての戦闘』講読
ドイツ語圏文学論 B*　瀬尾　育生　〔後期〕ユンガー『世界国家』講読
上級ドイツ語　前田　佳一　〔前期〕〔後期〕世紀末ウィーンの文化・芸術
ドイツ語圏文化史 A*　山本　潤、トーマス・ペーカー　〔前期〕文化史：

第一次世界大戦
ドイツ語圏文化史 B*　山本　潤、トーマス・ペーカー　〔後期〕文化史：
第一次世界大戦
ドイツ語学特殊講義*　成田　節　〔前期〕〔後期〕ドイツ語の文構造
ドイツ語会話 I　カーリン・プレン　〔前期〕〔後期〕
ドイツ語会話 II　カーリン・プレン　〔前期〕〔後期〕
ドイツ語学特殊講義*　山本　潤　〔通年〕『ニーベルンゲンの歌』講読
ドイツ語圏文化論 A*　丘沢　静也　〔前期〕マンネリズムの研究
ドイツ語圏文化論 B*　丘沢　静也　〔後期〕マンネリズムの研究
欧米文化論卒業論文（ドイツ語圏）　全教員

専門教育科目（教職関係科目）
独語科教育法 1　古屋　裕一　〔通年〕ドイツ語の習得と教授法の実践

【大学院】
人文科学研究科文化関係論専攻欧米文化論分野ドイツ文学
※　授業科目名は左側記載が博士前期課程の科目、右側記載が博士後期課程の科目

ドイツ語圏文化論研究・ドイツ語圏文化論特論*　福本　義憲
〔前期〕ホフマン『ファールン鉱山』講読
ドイツ語学ドイツ文学研究・ドイツ語学ドイツ文学特論*　福本　義憲
〔後期〕ドイツ語史から見る社会と文化
ドイツ語圏文化論研究・ドイツ語圏文化論特論*　園田　みどり
〔前期〕〔後期〕ナチ政権下における抵抗文学
ドイツ語圏文化論研究・ドイツ語圏文化論特論*　古屋　裕一
〔前期〕〔後期〕ヴァルター・ベンヤミン精読
ドイツ語学ドイツ文学研究・ドイツ語学ドイツ文学特論*　山本　潤
〔前期〕〔後期〕中世ドイツ文学入門
ドイツ語圏文化論研究・ドイツ語圏文化論特論*　古屋　裕一
〔前期〕〔後期〕フランツ・カフカ精読
ドイツ語学ドイツ文学研究・ドイツ語学ドイツ文学特論*　園田　みどり
〔前期〕〔後期〕ゲーテ『若きウェルテルの悩み』講読
ドイツ語学ドイツ文学研究・ドイツ語学ドイツ文学特論*　瀬尾　育生

〔前期〕ユンガー『内的体験としての戦闘』講読
〔後期〕ユンガー『世界国家』講読
現代ドイツ言語学研究・現代ドイツ言語特論*　成田　節
〔前期〕〔後期〕ドイツ語の文構造
ドイツ語圏文化論研究・ドイツ語圏文化論特論*　山本　潤、トーマス・ペーカー
〔前期〕〔後期〕文化史：第一次世界大戦
中世ドイツ語学文学研究・中世ドイツ語学文学特論*　山本　潤
〔前期〕〔後期〕『ニーベルンゲンの歌』講読
ドイツ語圏文化論研究・ドイツ語圏文化論特論*　丘沢　静也
〔前期〕〔後期〕マンネリズムの研究
修士論文指導（独文）　全教員
博士論文指導（独文）　全教員

3. 卒業論文題目

三浦 政治　マイスター・エックハルトの「言い表し得ないもの」に向かう言語創生
森下 勇矢　宗教改革期の阿呆概念―トーマス・ムルナーの「ルター派の大阿呆に関して」に描かれた愚者
山崎 潤人　戯曲『ラーガー』

4. 修士論文、博士論文題目

該当なし

5. 教員の活動（2015 年 3 月 - 2016 年 3 月）

●学術論文・図書等

ヴァルター・ループレヒター（計 4 点）

［単著］Passagen. Studien zum Kulturaustausch zwischen Japan und dem Westen. München: Iudicium 2015

［論文］Lust an Orientierung. Bernard Rudofsky und Roland Barthes auf Ortssuche in Tokyo. In: Interkulturelle Schauplätze in der Großstadt. Hg.v. Kikuko Kashiwagi-Wetzel u. Michael Wetzel. Paderborn: Fink 2015, S.93-106

［論文］„alles kann dies und jenes heissen“. Kontingenz als Darstellungsprinzip bei Konrad Bayer. In: Konrad Bayer: Texte, Bilder, Sounds. Hg.v. Klaus Kastberger und Thomas Eder. Wien: Zsolnay 2015, S.217-228
［論文］Konrad Bayer als Ethno- und Mythopoet. Am Beispiel seines Montageromans *der kopf des vitus bering*. ドイツ語圏における神話・伝説素材の作品化に見られる集合的記憶の諸相　報告論文集、1-9頁、2016年3月

園田みどり（計1点）
［論文］『悪魔の将軍』見えない傷跡―ニーベルンゲンの痕跡をたどって―、ドイツ語圏における神話・伝説素材の作品化に見られる集合的記憶の諸相　報告論文集、11-43頁、2016年3月

山本潤（計6点）
［論文］「ディートリヒの逃亡」における「作者」像―ジャンル交差の諸相から、『詩・言語』第81号、東京大学大学院人文社会系研究科ドイツ語・ドイツ文学研究会、61-90頁、2015年9月
［論文］名前と作者―中世俗語文芸における作者性、日本独文学会研究叢書第110号「名前の詩学―文学における固有名あるいは名をめぐる諸問題」、18-33頁、2015年10月
［論文］中世ドイツ文学に見るローマ観―『ディートリヒの逃亡』および『皇帝年代記』を題材に、『西洋中世研究』第7号、97-117頁、2015年12月
［論文］Konzeptionen der Geschichtlichkeit in der genealogischen Vorgeschichte von ‚Dietrichs Flucht‘ In: Neue Beiträge zur Germanistik, Nr.151, 2015, S.75-91
［共著］ドイツ文化55のキーワード、宮田眞治・畠山寛・濱中春（編著）、ミネルヴァ書房、152-155頁、2015年3月
［コメント］ダリン・テネフ「猫、まなざし、そして死」への応答、『人文学報』No.511、157-161頁、2015年6月

犬飼彩乃（計1点）
［論文］記憶と写真―アルノ・シュミット創作理論からみる想起の力、ドイツ語圏における神話・伝説素材の作品化に見られる集合的記憶の諸相　報告

論文集、45-58 頁、2016 年 3 月

●その他の研究成果の発信

山本潤（計 1 点）

［コロキウム主宰／口頭発表］Geschichtskonzept in der genealogischen Vorgeschichte von „Dietrichs Flucht“

第五回中世コロキウム「ドイツ中世文芸における歴史性と虚構性」、2015 年 3 月 20 日、慶應義塾大学

犬飼彩乃（計 6 点）

［書誌］Chronologische Bibliographie zum Thema „Arno Schmidt in Japan“ In: Karl-Heinz Müther: Bibliographie Arno Schmidt. 16. Nachlieferung. Bielefeld: Aisthesis Verlag, Mai 2016, S.112-118.

［共訳］ヨアヒム・ロットマン『ハッピー・エンド』（2015）抜粋訳、ヨアヒム・ロットマン来日記念冊子（メルク＝かけはし翻訳賞プレイベント講演会）、共訳者：高本教之、ゲーテ・インスティトゥート東京、7-23 頁、2015 年 10 月

［翻訳］クレメンス・J.ゼッツ「インディゴ」（2012）抜粋訳、『クレメンス・J.ゼッツ—現代、インターネット、そして人間関係』、ゲーテ・インスティトゥート東京、7-25 頁、2015 年 12 月

［翻訳監修］クレメンス・J.ゼッツ「女性とギターとの間の刻」（2015）抜粋訳、『クレメンス・J.ゼッツ—現代、インターネット、そして人間関係』、ゲーテ・インスティトゥート東京、37-56 頁、2015 年 12 月

［対談企画・司会］ワタシの分身 — 石黒浩とクレメンス・J.ゼッツが人間とロボットについて語る、2015 年 12 月 6 日、ゲーテ・インスティトゥート東京

［口頭発表］クレメンス・Ｊ.ゼッツにおけるメディアと文学、第 66 回ドイツ現代文学ゼミナール、2016 年 3 月 8 日、箱根町強羅 静雲荘

執筆者

小野　森都子　　首都大学東京都市教養学部人文・社会系　非常勤講師
西野　路代　　首都大学東京都市教養学部人文・社会系　非常勤講師

平成 28 年 3 月 15 日印刷
平成 28 年 3 月 25 日発行
「人文学報」　第 512-14 号
非売品
東京都八王子市南大沢 1 丁目 1 番地

編集・発行者　首都大学東京　人文科学研究科
人文学報編集委員会
代表者　岡部　卓

（株）インフォテック
〒206-0033　東京都多摩市落合 2 - 6 - 1

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。
再生紙を使用しています。

R70
古紙配合率 70%
白色度 70%再生紙を使用しています。

THE JOURNAL OF SOCIAL SCIENCES AND HUMANITIES

(JIMBUN GAKUHO)

EDITED BY

The Graduate School of Humanities
Tokyo Metropolitan University
1-1 Minami-Osawa, Hachioji-shi, Tokyo

No.512-14 März 2016

INHALT

[Abhandlungen]

Beim Anblick der Zeiten
W.G. Sebalds „Auf ungeheur dünnem Eis“
..... Motoko Ono (1)

An einen jungen Mann, der 100 Jahre nach Musil lebt.
－Robert Musils <Der Mann ohne Eigenschaften> und die Zeit des Nationalsozialismus.
..... Michiyo Nishino (27)